

かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



若い力で新しい政治を実現します！

◆12月議会の個人質問報告◆

①化学物質過敏症について

Q. 過敏症の患者に対し、どういった治療、対応をしているのか？

A. 症状にあった専門医に受診を頂き、治療については、痛みの緩和を目的とした処置・血液検査・尿検査・画像診断などによる原因の特定と症状改善に向けた診療計画を作成している。

(要望)

専門窓口として化学物質過敏症外来やアレルギー科を開設している医療機関がありません。過敏症の方々に対し専門の診察を受けられる環境整備を行って欲しい。

③電磁波の人体への影響について

Q. 携帯電話基地局の設置に対し、市民から健康被害の不安や事前説明がないことへの不満の声があるが、市の対応方法は？

A. 総務省近畿総合通信局で手続きが行われ、事業者は手続きの際、周辺住民へ説明をするよう要請されている。国や専門機関の調査研究が続けられており、市民の安全・安心を守るため関係部局と協議している。

(要望)

周辺住民の理解を得るため、基地局設置前に十分な説明を行うよう携帯電話会社に徹底するルールを作るなど、市民に不安や不満がなるべく生じないよう対応して欲しい。

②香料自粛の呼びかけについて

Q. 香料にアレルギー反応を起す方、過敏症の方は市内にどのくらいいるのか？香料自粛を呼びかけるポスターの掲示を市有施設内で行ってはどうか？

A. 豊中市内で発症している方の人数は、把握していない。国の検証研究結果を見定め、これに基づき適切な対応に努めたい。

(要望)

香料アレルギーをはじめ化学物質過敏症で苦しんでいる方の存在を広く市民に知って頂くため、ポスター掲示・ホームページでの啓発等をして欲しい。

④校庭の芝生化について

Q. 体力・運動能力の向上、怪我の減少、芝の緑に癒され、睡眠障害・うつ症状の解消など多数のメリットがある校庭の芝生化を検討してみては？

A. 維持管理体制の仕組み作りが必要であり、費用負担など問題点の整理が必要だが、今後は問題点を含め関係部局と調整しながら調査研究していきたい。

(要望)

様々な可能性を秘めた鳥取方式を調査・研究し、校庭の芝生化実現に向けて、前向きに検討して欲しい。

◆個人質問の詳細と神原の見解

～化学物質過敏症ってご存知ですか！？～

化学物質過敏症は、体内に入る有害化学物質が一定量を超えると突然発症します。許容量や対象物質に個人差があるものの、誰でも発症する可能性があります。

過敏症の方々にとっては、過敏症自体の悩みもですが、社会が過敏症に対し無理解であることの悩みが大きく、生きていくのが本当に大変だそうです。今後ますます患者数が増す可能性のある化学物質過敏症に対する的確な治療・対応をとる環境整備とともに、「化学物質過敏症」を社会に広く周知する必要があります。

～こんなにもあった、携帯電話基地局！！～

携帯電話基地局の設置に対し絶対反対と言うつもりはありません。しかし、市民の健康面、生命を重要視することは市として当然のことです。市内には、合計274か所の基地局が設置されています。携帯電話各社は電波の通じにくい地域の解消・次世代型携帯電話への対応を目的に基地局の増設をしており、今後、乱立する可能性があります。利便性や利潤追求をするあまり、住民の健康や住環境を度外視する企業のあり方は見過ごせません。携帯電話基地局を建設する場合は、周辺住民への十分な説明、建設・設置計画の提出などを携帯電話各社に求めるルール作り等、早い段階での市の対応が必要と考えます！！

～誰もが利用しやすい公共施設へ～

ポスター掲示やホームページ上での啓発は、ほとんどお金をかけずでき、既に実施している自治体があります。そういった啓発は、香料をはじめ様々な化学物質で体調を崩される方がいることを多くの方に知ってもらい、市民一人ひとりの配慮の気持ちを促すことを可能とするのではないかと考えます。公共施設の役割上、誰が利用しても体調を崩すことのないよう細心の配慮を市にはして欲しいのです。

このような提案に対して、市の答弁は「国や府の動向を見ながら適切な対応をする」といった極めて消極的・責任回避の姿勢でした。正直、私は豊中市の自治機能・自治能力を疑います。国や府の見解・動向を伺わないと何も判断・対応が出来ないなら、豊中市は自治体という資格はないと思います！！

～これなら可能！？校庭の芝生化～

これまでコスト面で実現が難しかった校庭の芝生化ですが、『鳥取方式』^(※)を用いることで、その問題も解消されそうです。鳥取方式による校庭の芝生化は、行政や専門業者が行うのではなく、老若男女、地域の方々の参加・協働によって施行から維持管理までを行う事ができ地域のまとまり、つながりづくりにも役立つ可能性があります。

日本では今も多くの校庭が土ですが、「これからの子どもたちに芝生のグラウンドを提供したい」という気持ちを私たち大人が持つことで、将来の子どもたちに一つの大きな財産を残すことができる可能性があるのです！！

市民・職員の方からの
ご意見・ご感想を
是非、お聞かせ下さい。

(※)鳥取方式：国内では最も頻繁に活用されてきた高麗芝の傷みに弱いという欠点を補い、繁殖力も強いバミューダグラスを使用し、農薬散布の必要もなく、維持管理を専門業者でなくても出来るなど低コストで効率的に芝生化ができる方式です。

神原 宏一郎の活動報告 2008年10月1日~12月31日 (抜粋) ※印は公務

日々の活動についての詳細は神原 宏一郎ホームページの日記をご覧ください!

<http://www.tccf.zaq.ne.jp/positive-square/diary.html>

2008年10月

- 3日 北摂アクションネット
- 6日 文教常任委員会 傍聴 ※
- 7日 再生資源ごみ学習会
- 「関西若手議員の会」学習会
- 8日 環境常任委員会 傍聴 ※
- 「全国学力・学習状況調査に係る保護者説明会」
- 10日 建設水道常任委員会 ※
- 11日 ESD セミナー「わたしから広げる 未来のまちのつくりかた」
- 12日 上野市民体育祭
- 15日 ダイキンサンライズ摂津(障害者雇用をしている特定子会社)見学 ※
- 17日 能勢町長選挙応援
- 18日 上野歩こう会
- 19日 いきいき長寿フェア・コラボまつり見学
- 20日 総務常任委員会 傍聴 ※
- 21日 市民力フェスタ運営会議
- 22日 豊中市老人文化祭
- 24日 「国際交流センターのすてっぷへの移転説明会」
- 25日 くらしかん祭り
- 第6回市政報告会
- 26日 上野小学校文化祭・みどりのフォーラム参加
- 28日 市民力フェスタ運営会議
- 29日 市立小学校連合音楽会



- 21日 豊能地区3市2町合同防災訓練見学
- 北摂アクションネット
- 22日 地域子ども教室カーニバル
- 24日 「子どもの学力を考えるシンポジウム」
- 25日 空港問題調査特別委員会 ※
- 市民力フェスタ反省会
- 27日 大阪大学大学院(国際公共政策学科)にて講義 交流会
- 28日 春日荘聖マリヤ幼稚園視察
- 「関西若手議員の会」広報ネットワーク部会
- NHK 大阪放送局見学
- 29日 前向きひろば イベント企画「王子動物園」



2008年12月

- 1日 12月定例会 本会議 ※
- 4日 環境福祉常任委員会傍聴 ※
- 5日 建設水道常任委員会(神原所属) ※
- 6日 多文化交流フェスティバル
- 7日 議員インターン交流会
- 改革派首長が語る「信じられる日本へ」の処方箋
- (田中康夫参議院議員講演会)
- 8日 文教常任委員会 傍聴 ※
- 9日 総務常任委員会 傍聴 ※
- 啓発パネル展・シングル作品展見学
- 13日 上野歩こう会・市民環境展
- 市民文化祭・北摂市民ネットワーク
- 14日 再生資源ごみ学習会
- 17日 本会議 ※
- 18日 本会議 ※
- 服部えびす祭懇親会
- 19日 本会議(神原宏一郎 個人質問) ※
- 20日 香月日輪さん講演会
- ふれあいサロン
- 21日 アクア・アート・パーティー
- 22日 介護保険事業運営委員会 傍聴
- 26日 前向きひろば OB・OG インターン交流会



議員3年目に向けて...

2009年の抱負

昨年もつながり通信を毎月作成、駅頭で配布し、ホームページで活動日記や収支報告、議会報告を行い『情報公開』の徹底を図ってきました。昨年の目標であった『議会改革』はあまり進んでいませんが、何事も継続することが肝心だと思っています。なかなか容易ではないですが、時代に合わない慣習や市民感覚では理解しにくい議会規則は少しずつ着実に変えていきたいと思っています。

さらに、今年は個人的に意見書の提出や議案の提案、次年度予算に対する予算要望書の作成・提出を行いたいと考えています。

まだまだ至らない点、ご迷惑やご心配をかけることが多々あるかと思いますが、失敗を恐れず、何事にも意欲的に取り組んでいきたいと考えています。

◆定額給付金の賛否を問う◆

総額約2兆円の税金を使って、1人1万2千円(18歳以下の子どもと65歳以上の高齢者は2万円)を配る定額給付金。今日の経済危機・社会情勢の中、住民への生活支援や地域の経済対策に国が税金を使うことは必要だと思います。しかし、今回の給付金支給が景気対策や生活支援になるのか大いに疑問です。支給窓口は市町村が行うこととなっており、支給するための市町村の財政負担や窓口の混乱は相当なもの予想されます。思いつきで2兆円もの税金が使われた結果、その穴埋めで赤字国債が発行され、消費税が上がるということになるのは納得がいきません。

あくまで試算ですが、豊中市の場合、給付金の総額は約60億円になるそうです。これだけのお金があれば、医療や介護の施設整備、学校の耐震工事など、いろんな施策・事業が行えます。地方分権・住民自治と言うのであれば、豊中の未来のために、今どういった施策・事業にお金を使うべきなのかを、市民が議論し決めればよいのです。給付金を一人ひとりに支給するのではなく、市民の将来のためにまとめて活用するという選択をしてもよいのではないのでしょうか。市民の皆さんは、どう思われているでしょうか？

インフォメーション

完全公開！！

神原のお金の使いみち

注目！

第7回市政報告会

日 時：1月24日(土) 午後1時半～3時半
場 所：堀田会館2階第一料理教室
(阪急バス豊中高校前から徒歩3分)
参加費：無料(事前申し込みは要りません)
主 催：前向きひろば
連 絡：06-6854-5664

「つながり通信」のポスティングや、
周りの方に配って下さる方
ご連絡ください！！

期末手当(ボーナス)について

共済掛金・所得税を控除して支給された金額は、

143万9039円でした。

来年度は今年度比へ、住民税・国民健康保険料が増えることが予想されるため、今回支給分は一旦、貯金することにしました。

(注)本年度は住民税(42万3600円)、国民健康保険料(57万7700円)、国民年金(17万2920円)、合計117万4200円の支出がありました。

収支報告

2008年10月～12月分

収入	
議員報酬	¥2,040,000
期末手当(注1)	¥1,897,200
合計	¥3,937,200
支出	
議員共済掛金	¥439,875
所得税	¥442,936
議員団費	¥10,200
前向きひろばへ	¥900,000
生活費	¥2,144,189
合計	¥3,937,200

(注1) ¥680,000 × 1.2 × 2.325

(注2) カンパ
イベント参加費

(注3) イベント費用

前向きひろば 2008年10月～12月分

収入	
前月繰越残高	¥1,346,632
神原宏一郎議員報酬より	¥900,000
その他(注2)	¥216,000
合計(1)	¥2,446,632
支出	
家屋費(イベント会場含)	¥223,665
光熱費	¥11,923
通信費	¥19,099
印刷費	¥12,300
備品費	¥4,480
消耗品費	¥25,355
交通費	¥0
人件費	¥403,000
その他(注3)	¥18,942
合計(2)	¥718,764
次月繰越(1)-(2)	¥1,727,868

発行元 つながりひろば ～Link Square～

〒560-0021 豊中市本町3-1-20 エルビル2階

TEL&FAX:06-6854-5664

平日(祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.tcct.zaq.ne.jp/positive-square/

「つながり日記」毎日HPで更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

